

2026年9月4日
日本銀行熊本支店

日本銀行熊本支店
熊本市中央区山崎町 15 番地
TEL 096-359-9501 FAX 096-311-1022
URL <https://www3.boj.or.jp/kumamoto/index.html>



熊本県の金融経済概観（9月4日公表）補足資料

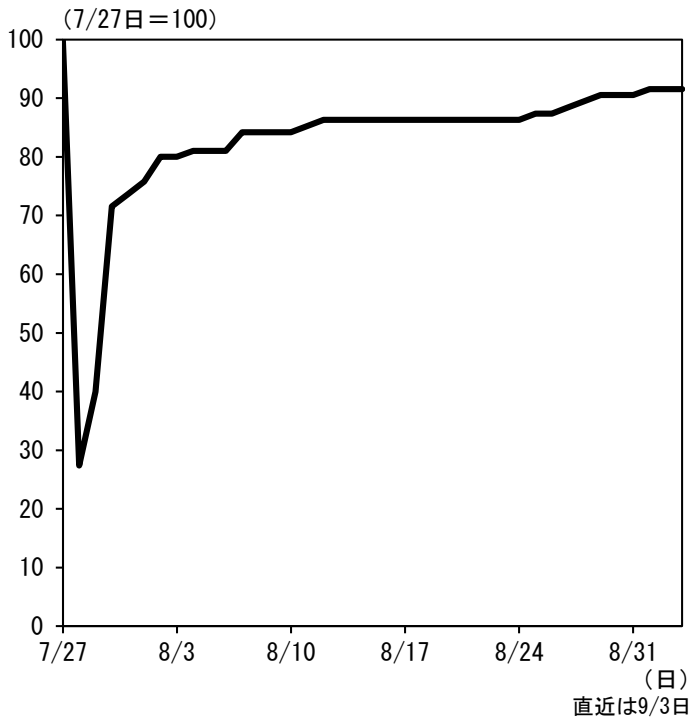
当店の景気判断

	前回（７月１日）	今回（９月４日）
総括	緩やかに回復している。	<u>令和８年熊本地震の影響により、足踏み状態となっている。</u>
個人消費	物価上昇の影響などがみられるものの、緩やかに回復している。	物価上昇の影響などがみられるものの、緩やかに回復している。 <u>ただし、足もとでは地震の影響による店舗の休業や消費マインドの悪化などが下押し圧力となっている。</u>
観光	高水準で推移している。	<u>観光需要の減少などから、弱い動きとなっている。</u>
住宅投資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
公共投資	横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
設備投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
生産	高水準で推移している。	<u>被災に伴う影響がなおみられることから、弱い動きとなっている。</u>
雇用・所得	改善している。	改善している。

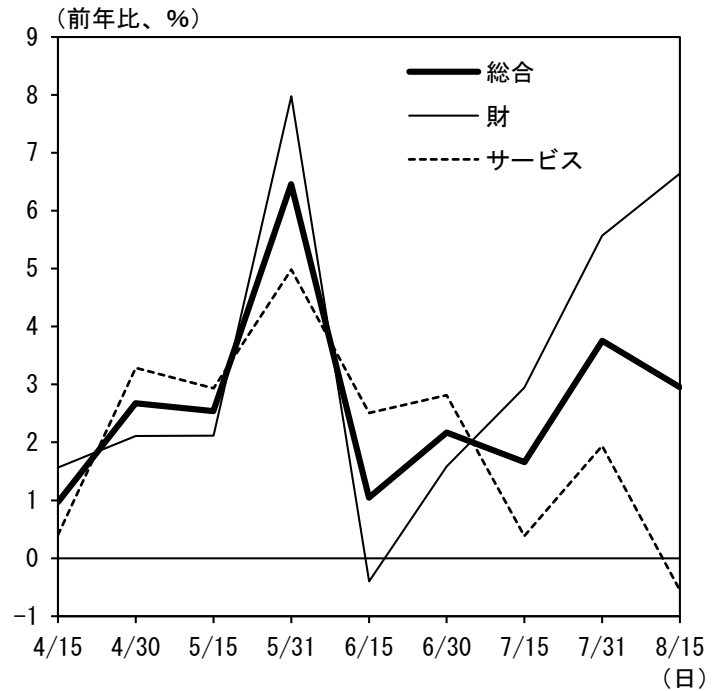
（注）下線部分は前回からの変更点。

個人消費（１）

（１）県内主要スーパーの営業店舗数

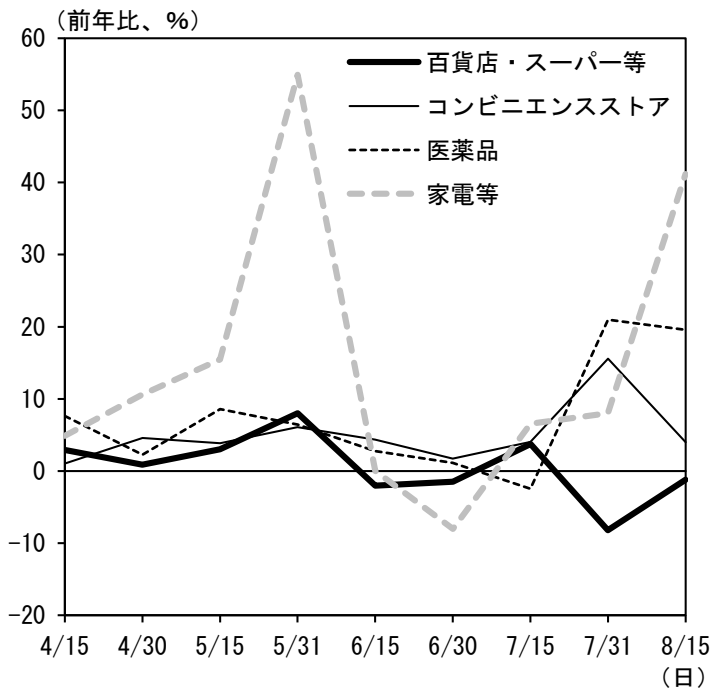


（２）カード支出に基づく消費動向

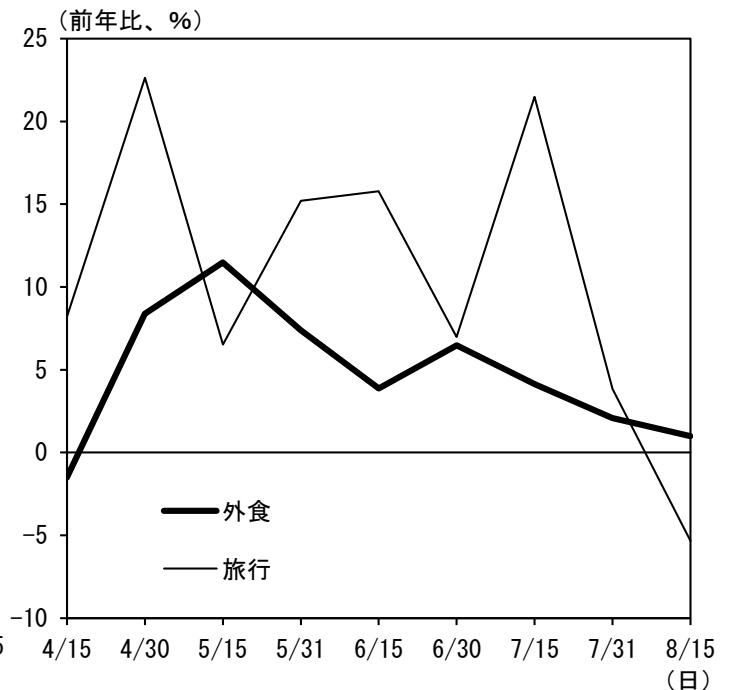


（３）カード支出に基づく消費動向（業態別）

①財



②サービス



（注１）（２）（３）の８月１５日は速報値。

（注２）（３）①の「百貨店・スーパー等」は各種商品小売業、「家電等」は機械器具小売業。

（出所）各社プレスリリース、株式会社ナウキャスト「JCB 消費 NOW」

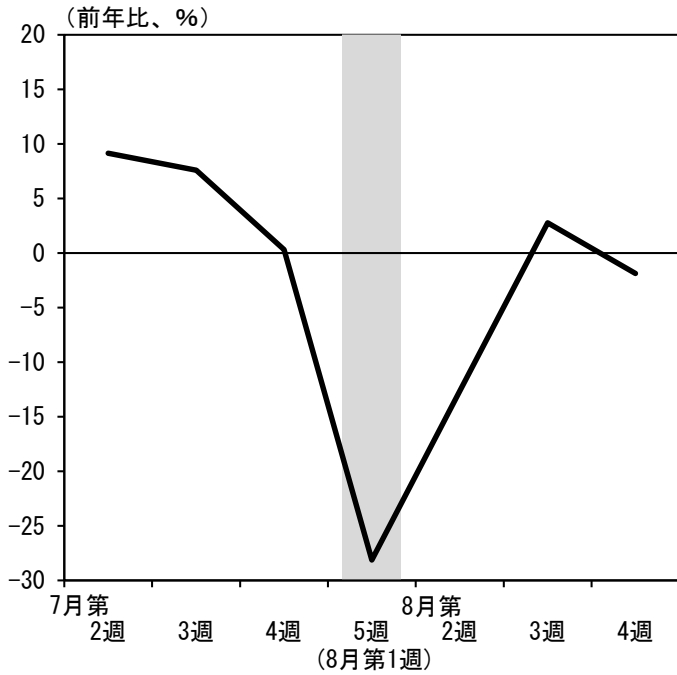
個人消費（２）

▽ヒアリング情報

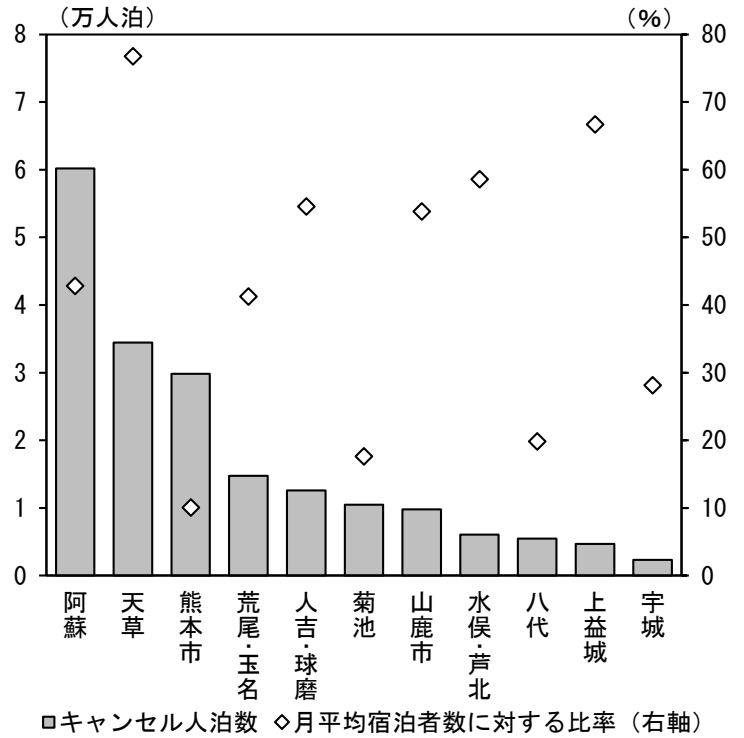
①	コンビニ	地震発生直後、飲料やパン、惣菜類、衛生商品など多くの品目で特需がみられ、売上を大きく押し上げた。８月入り後も、災害ボランティア向けの販売が増えているほか、県南部の店舗では周辺施設の休業が継続していることもあり、来店客数が増加している。
②	スーパー	早期に営業を再開した店舗では、近隣の競合店が休業していたこともあり、飲料や加工食品、トイレットペーパーなどの販売が伸長した。
③	ホームセンター (八代市)	地震直後は、断水や停電が続いていたことから、水や発電機の売れ行きが良く、その後は、余震に備えた耐震・防災グッズの売上が増加した。
④	家電販売	地震により故障したテレビや冷蔵庫、洗濯機の買い替え需要が増加したほか、ポータブル電源、防災バッグ等の防災商品の販売額も伸長している。
⑤	旅行代理店	地震発生後、予約キャンセルが多数発生したほか、８月入り後も、遠方への旅行を自粛する動きが続いている。
⑥	飲食店	地震発生により、８月は全ての宴会の予約がキャンセルとなった。被災地の状況に鑑み、宴会の開催を自粛するケースが多い。

観光（１）

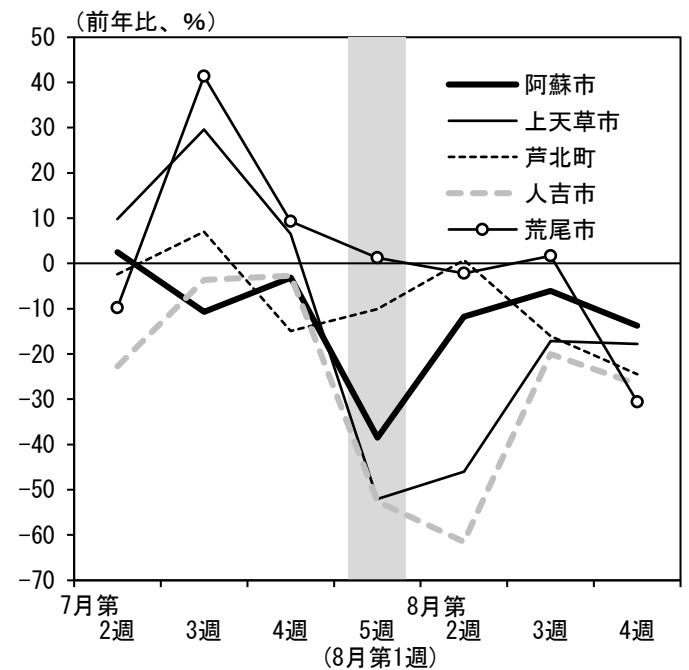
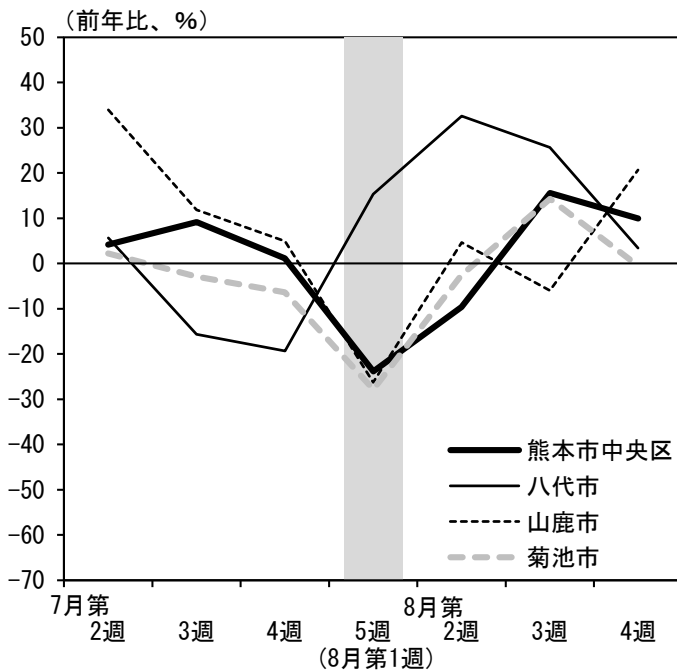
（１） 熊本県への来訪者数（日本人）



（２） 熊本県内の宿泊予約キャンセル数



（３） 県内地域別の来訪者数（日本人）



（注１）（１）（３）の来訪者数は、スマートフォンのGPS位置情報に基づく観光人流データ。来訪目的の判別は困難なため、被災地からの避難、救護活動、報道、被災者支援、復旧工事などの人流も含む。シャドー部分は発災週。

（注２）（２）の宿泊予約キャンセル数は、7月28日以降に発生したもの。8月21日時点。月平均宿泊者数は2024年の各地域における延べ宿泊者数÷12で算出。

（出所）九州経済調査協会・ブログウォッチャー「おでかけウォッチャー」、熊本県

観光（２）

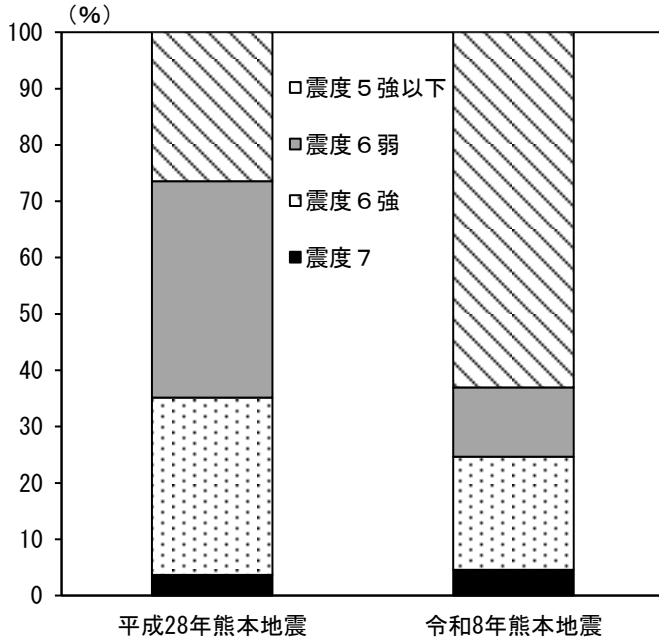
▽ヒアリング情報

①	ホテル (上天草市)	当施設や周辺地域では特に大きな被害はなかったが、熊本県全域が大きな被害を受けているというイメージがあるためか、７月末から８月にかけて約２千人泊の宿泊予約キャンセルが発生した。足もとの新規予約も回復していない。
②	ホテル (熊本市)	地震発生直後から、多数の宿泊予約キャンセルがあったが、その後、インフラ復旧や被災者支援等を目的とした来県者が増加し、客室稼働率は高水準となっている。
③	ホテル (熊本市)	レストランの利用者が大きく減少しているほか、宴会部門でも、自粛ムードの高まりを背景に、多くの予約がキャンセルとなった。
④	観光施設 (熊本市)	８月の入り込み客数は、余震への警戒感が続く中、施設内外でのイベントの多くが中止になった影響から、大きく減少した。
⑤	飲食店 (県内各地)	地震発生以降の客数をみると、地元客中心の郊外の店舗と比べて、観光客による利用が多い熊本市中心部の店舗での減少が目立っている。
⑥	旅館 (阿蘇市)	地震発生直後に夏休み期間中の宿泊予約キャンセルが相次いだほか、その後、阿蘇山の噴火警戒レベルがレベル３に引き上げられた影響のためか、キャンセル数がさらに増加した。
⑦	ホテル (水俣市)	地震の影響で南九州自動車道が通行止めとなっていたことや、九州新幹線が運休していたこと等も影響し、宿泊予約キャンセルが多数発生した。もっとも、足もとでは、八代市等で復旧作業にあたる関係者による宿泊需要が高まっており、客室稼働率は前年とほぼ同水準まで回復している。
⑧	観光施設 (阿蘇市)	当施設に大きな被害はなかったが、地震発生以降、入り込み客数は、前年比半減の状態が継続している。夏休み期間中に例年みられる帰省した家族連れの姿が殆どみられなかった。今後は「阿蘇ふっこう割」や「九州ふっこう応援割」による観光需要の増加に期待している。
⑨	観光施設 (熊本市)	国内客数は被災後減少した後の戻りが遅い一方、台湾からの団体客は回復傾向にある。現地の旅行会社が熊本県の状況を正確に情報発信していることが奏功している可能性。

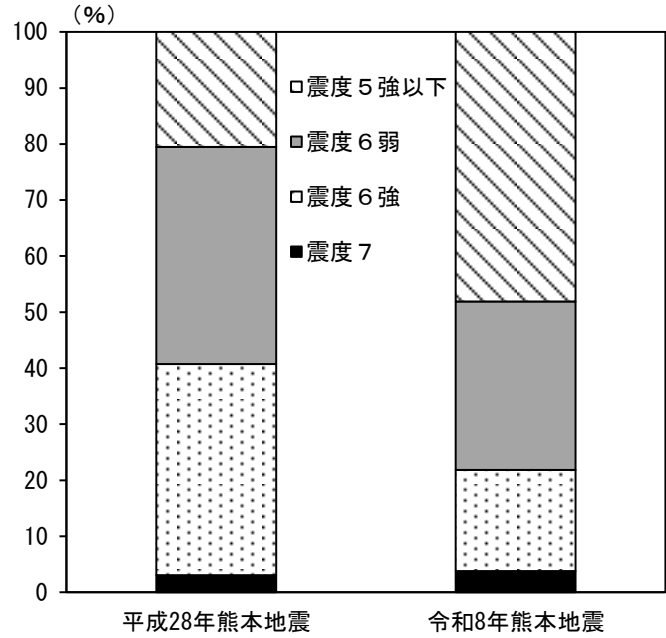
生産

(1) 熊本県における製造事業所の所在地分布（最大震度別）

①事業所数ベース



②製造品出荷額等ベース



(2) ヒアリング情報

①	輸送用機械	10 年前よりも設備の耐震化を進めていたことから、早期に生産を再開することができたが、地震によって破損した部品・仕掛品を廃棄することとなったほか、生産再開後の製品の品質確認に時間を要することから、当面は生産水準が切り下がった状況が続く見込み。
②	生産用機械	平成 28 年熊本地震の際に生じた被害を受けて、工場の天井が崩落しない作りに変更していたことから、今回は被害の規模を抑えることができた。また、最近竣工した建屋では、免震装置の効果により、特に被害はなかった。
③	食料品	平成 28 年熊本地震の際に断水となった経験を踏まえ、新設工場に井戸を設置するなど、安定的に水を確保できる体制を整備していたため、今回の地震により断水が発生するもとでも生産活動を早期に再開することができた。また、取引先との緊急時の連絡体制を整備していたことも事業を継続するうえで役立った。
④	非鉄金属	八代港が被災したことにより、同港を経由する原料の調達が滞っている。ただし、手元在庫の活用のほか、博多港経由での調達の引き上げにより対応しているため、現時点で生産面に支障はない。

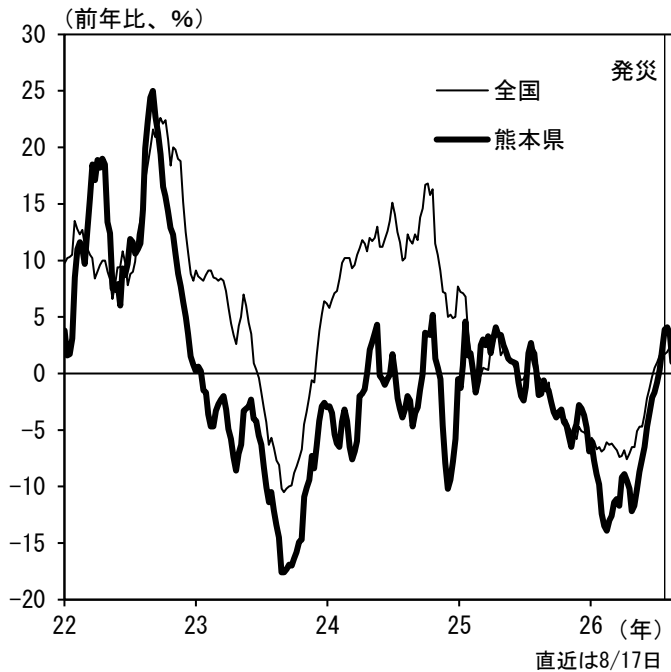
（注）令和 8 年熊本地震は、2024 年の事業所数・製造品出荷額等を基に算出。

（出所）経済産業省

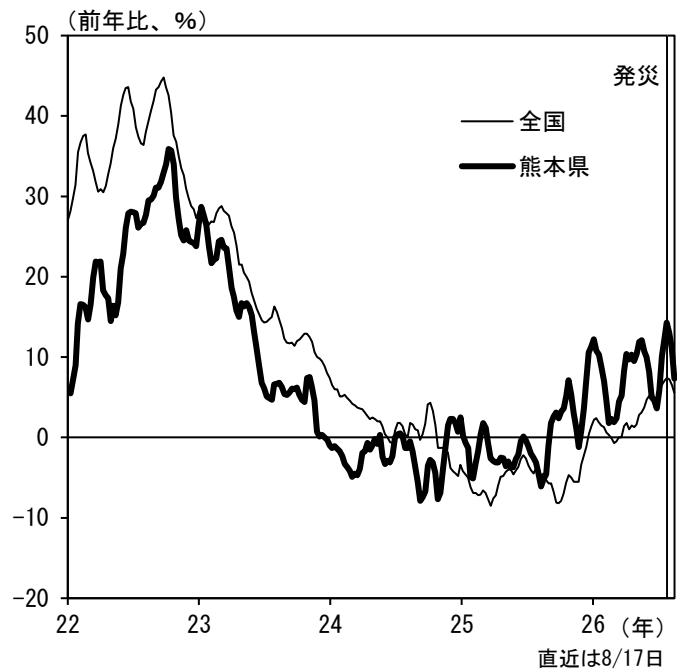
雇用・所得

(1) 求人数指数

①正社員

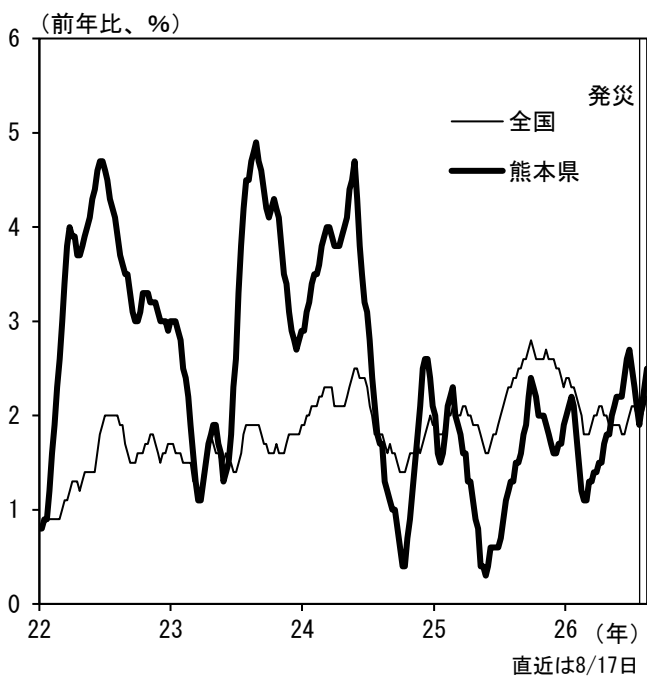


②パート・アルバイト

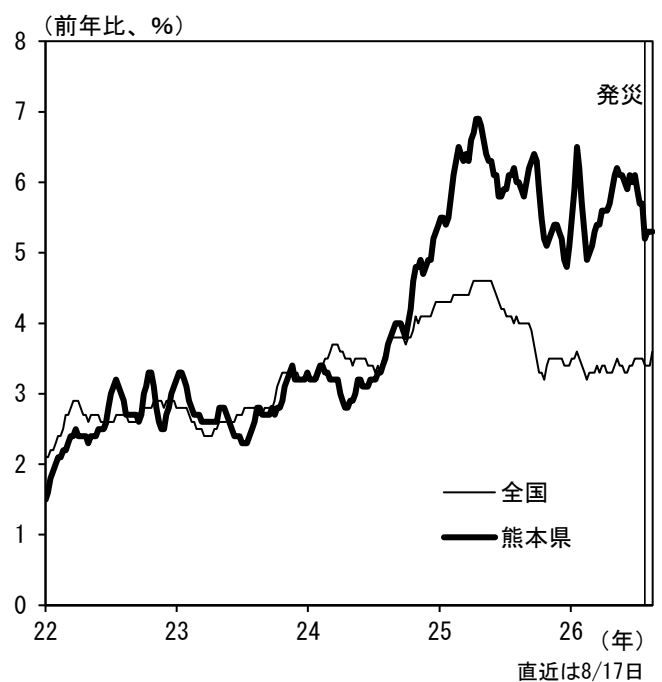


(2) 募集賃金指数

①正社員



②パート・アルバイト

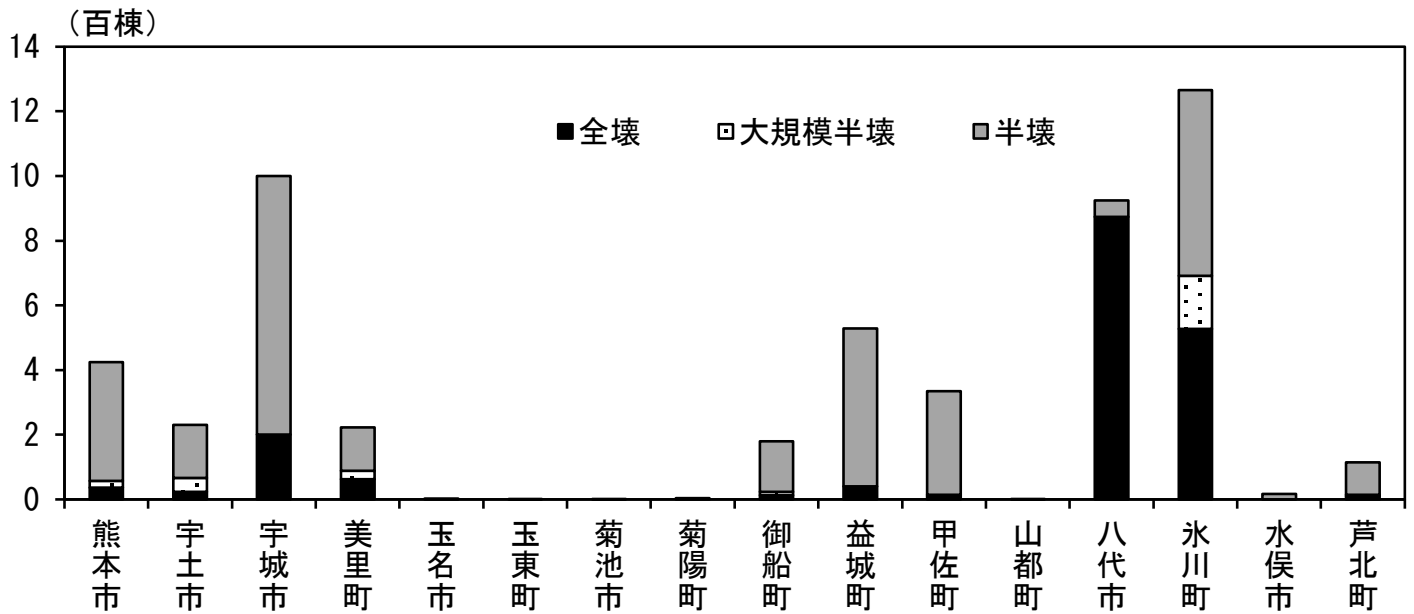


(注) 民間求人サイトとハローワークインターネットサービスで募集している求人の数(重複している求人は調整)、賃金(正社員：月給、パート・アルバイト：時給)を指数化したもの。

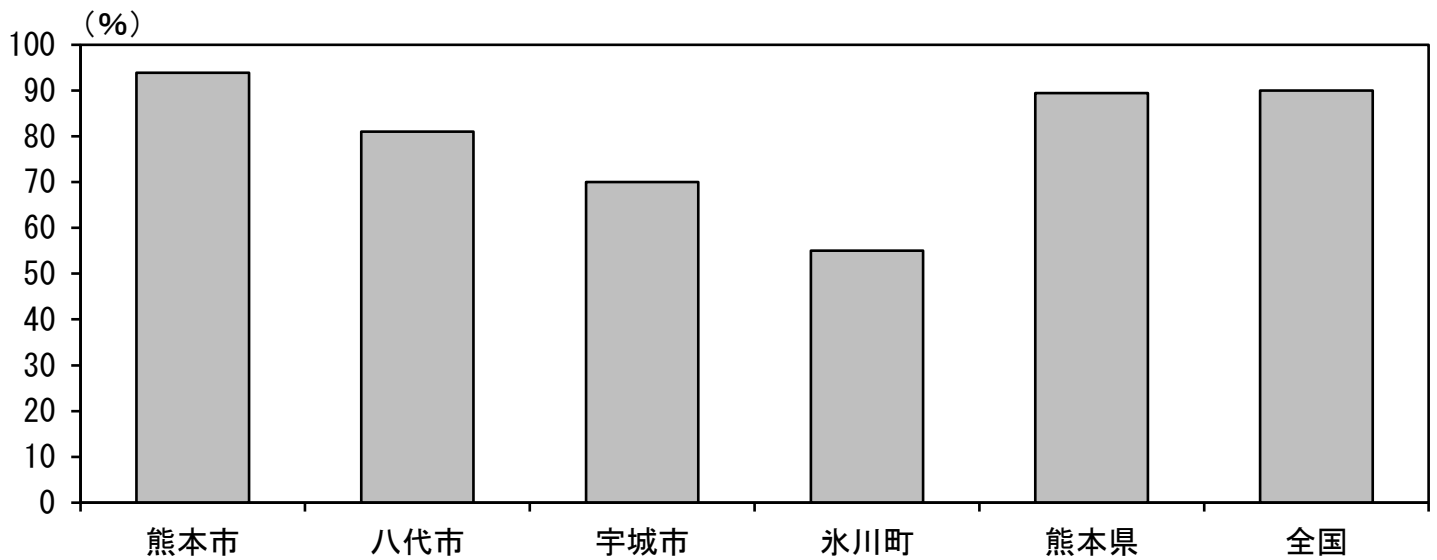
(出所) 株式会社ナウキャスト「HRog 賃金 Now」

住宅投資

(1) 令和8年熊本地震による市町村別の住家被害（半壊以上）



(2) 住宅の耐震化率



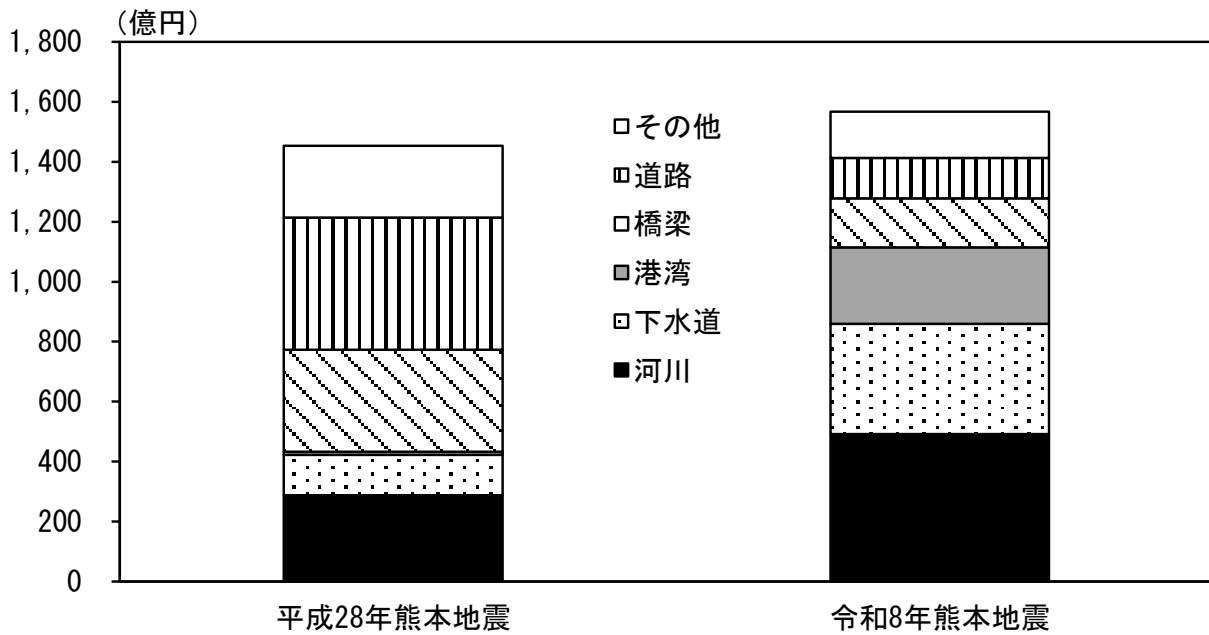
(注1) (1) は8月31日時点。半壊以上の被害がある市町村のみ。

(注2) (2) は、全国は2023年時点、その他は2025年4月1日時点。

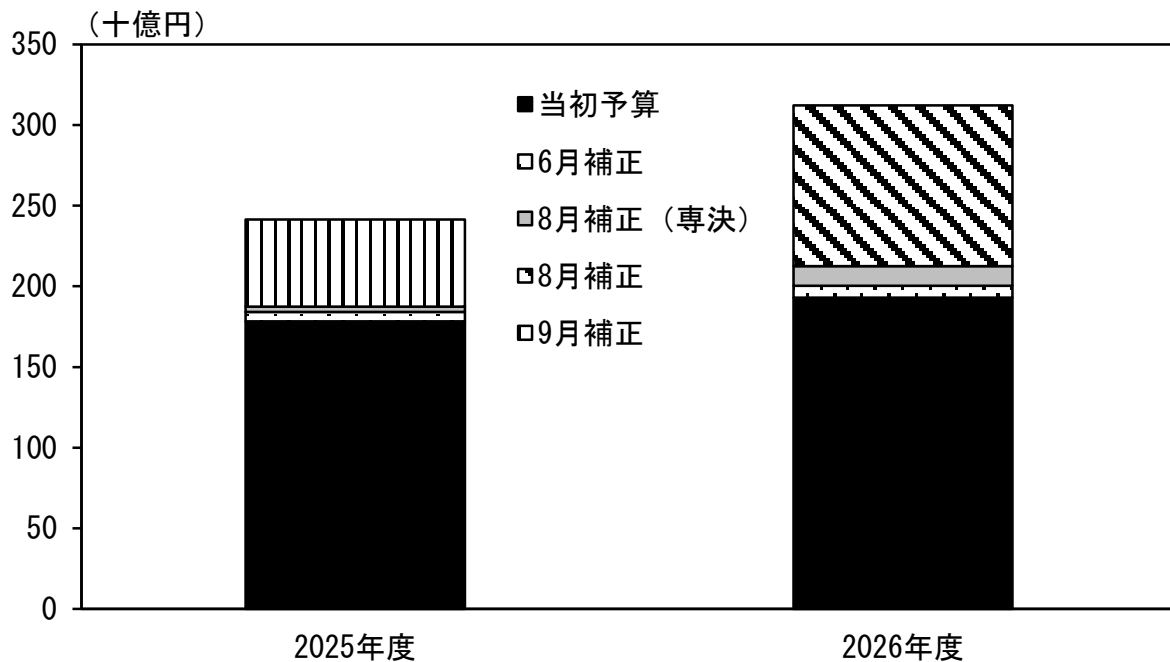
(出所) 熊本県、国土交通省

公共投資

(1) 公共土木施設の被害額（県＋市町村）



(2) 熊本県の一般会計予算（投資的経費、8月補正後）



(注1) (1) は8月28日時点。

(注2) (2) の2025年度は9月補正後。

(出所) 熊本県

以 上